

【ピレモンへの手紙】

「前にはあなたにとって役に立たない者でしたが、今は～役に立つものとなっています。」(ピレモン11)

ここに主な登場人物が3人います。一人はパウロ、もう一人は、パウロから伝道されて救われたであろうピレモン、そしてその奴隷であったオネシモ。コロサイで家庭を開放して集会をしていたピレモンは裕福だったようですが、オネシモはその家の物を盗んだというので、逃亡しローマに行きました。そこで獄中のパウロに会い、彼から伝道されて救われたのです。12節「彼は私の心そのものです。」と言われるほど今は立派なクリスチャンとなって、パウロのお世話をするようになったのですが、ピレモンの奴隷だったので、パウロはピレモンの所に送り返すという場面です。

オネシモは11節にあるように、「前にはあなたにとって役に立たない者」で、そればかりか盗みさえしたのですから、ピレモン家にとっては厄介者だったでしょう。当時奴隷の身でその家害することをした奴隷は殺されるのですが、パウロは、主によって立派に変えられたオネシモを奴隷としてではなく、神の家族として受け入れてくださいと、ピレモンに頼んでいるのです。パウロがオネシモに変わって負債を支払うという申し出は、罪人の私達のために、イエス様が身代わりになって十字架にかかって下さった愛に共通するところがあります。

パウロがそのような愛を与えたのは、勿論主の愛に触れたからではありませんが、かつて、相手にされず怖がられていたパウロをかばい、面倒を見たバルナバの愛を受けたからではないでしょうか。(使徒9:26-27)そしてタルソに行き、パウロを見出し、アンテオケに連れてきて、(使徒11:25、26)彼の協力者としてパウロを用いていきました。にもかかわらず、パウロは第1回伝道旅行でリタイアしたマルコを、第2回伝道旅行では連れて行かないと主張し、バルナバと意見が合わず、激しい反目となり、別行動をすることもありました。(使徒15:39)その後バルナバはマルコを育て、結果的には、ピレモン24節にあるように、マルコはパウロの同労者と見られています。

バルナバの愛の深さを思いますが、そのような愛を受けて、今年年取った(60才位)パウロの愛は深く、オネシモの中にある主への愛を見て、彼を弁護しています。オネシモは「有益」という意味で、実際役に立つものとなったのは深い主の愛、パウロの愛によってです。(10,11節)

石工は見た目、何の変哲もない石を、彫刻することによって素晴らしいものを作り出しますが、神様も私達にどんな欠けがあろうと、汚れていようと、頑固であろうと、いったん選ばれたら、それをきよめ、手を加えて神の器へと造り替えてくださいます。また私達もそのような愛を受けた者として、兄弟姉妹にも信仰の目で愛を持って接し、神の見るように尊んでお互いに愛し合っていけますように！(エレミヤ18:4)

* 皆様のお手荷物・貴重品等には十分ご注意ください。
教会内での紛失や盗難等については一切責任を負いかねます。



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven

主任牧師:イエス・キリスト

牧師:D大重 勝裕

SHILOAM

【シロアム：遣わされた者】

2013.4.28 No.734

今年のみ言葉

天よ。耳を傾けよ。私は語ろう。
地よ。聞け。私の口のことばを。
私のおしえは、雨のように下り、
私のことばは、露のようにしたたる。
若草の上の小雨のように。
青草の上の夕立のように。

私が主の御名を告げ知らせるのだから、
栄光を私たちの神に帰せよ。

主は岩。主のみわざは完全。まことに、主の道はみな正しい。
主は真実の神で、偽りがなく、正しい方、直ぐな方である。

申命記32：1～4



2012年5月26日バザーで

主の十字架クリスチャンセンター(TLCCC)

The Lord's Cross Christian Center

<http://tlcccfrh.astone-blog.jp/>